

常陸太田市の文化財

がいしゅつじしきく いえ 外出自粛で家にこもっていることに疲れてしまったら、きげんらしにそとへ出てみませんか？

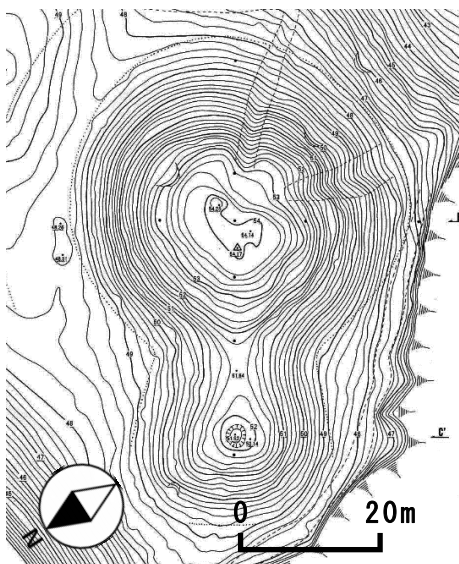
【県指定文化財】

【県指定文化財】

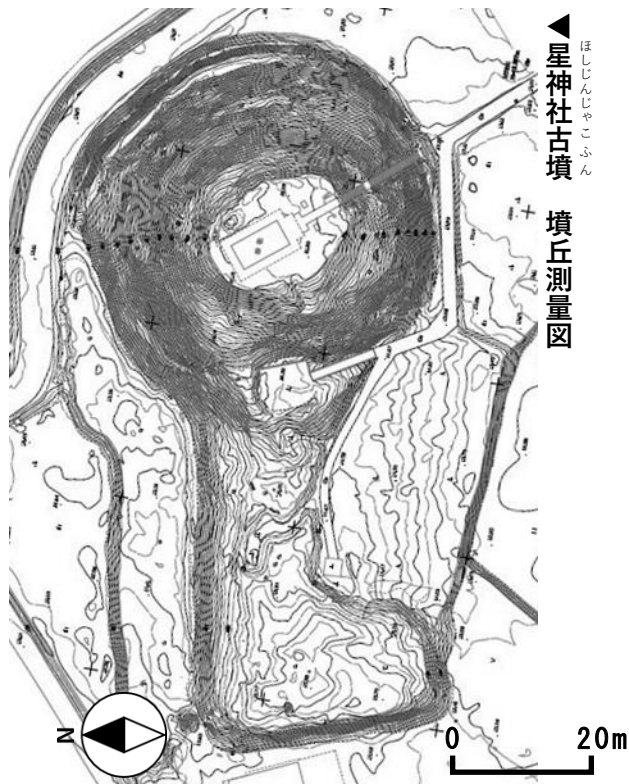
【市指定文化財】

梵天山古墳・星神社古墳・中野富士山古墳

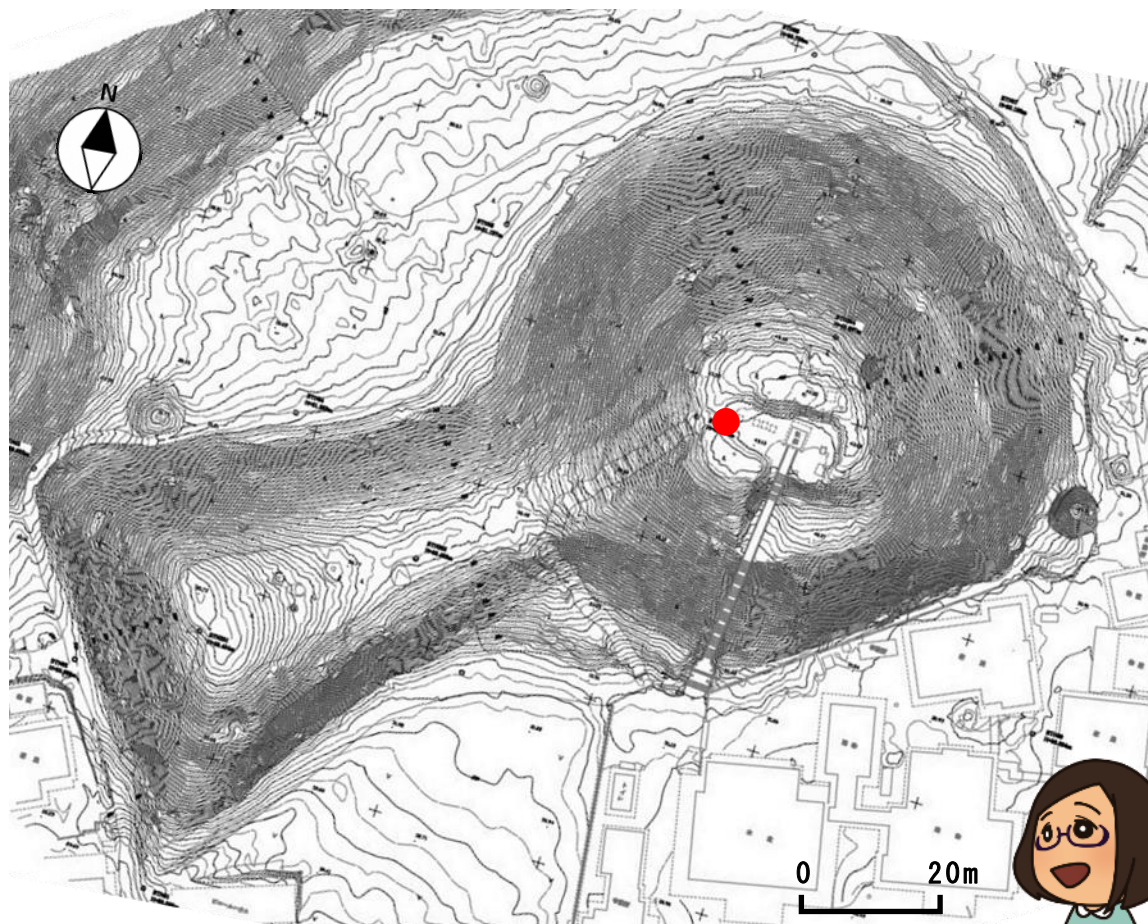
▶ 中野富士山古墳 墳丘測量図



▶ 星神社古墳 墳丘測量図



▶ 梵天山古墳 墳丘測量図



梵天山古墳は、
かたち 形がよくわかるよ
ぜんぽうぶ 前から方部を見



文化財だいすき
ユウコさん

梵天山古墳群は、久慈川と山田川にはさまれた標高40メートルの台地の上にあります。前方後円墳2基、円墳11基、「島の百穴」と呼ばれる横穴墓群からなります。一番大きな梵天山古墳は全長160メートルの巨大な前方後円墳で、前方部が後円部に比べて高さが低く未発達であることから、古墳時代前期に造られたものと考えられます。茨城県内では、石岡市の舟塚山古墳(186メートル)につづく第2位の大きさを誇ります。また、梵天山古墳群には、直径100メートルの円墳に直径30メートルの円墳がついたような形をしている高山塚古墳があります。北東に約650メートル離れたところには、全長100メートルの前方後円墳、星神社古墳があり、1キロメートルの範囲内に1000級級の古墳が3基も存在する珍しい地域になります。これらの古墳は、久慈川下流の地域を支配した豪族たちの墓であると考えられています。

星神社古墳は山田川と浅川2つの川にはさまれた、周りを水田に囲まれた場所にあります。後円部の頂上に星宮神社がまつられていることからこの名

がつきました。江戸時代に鴨志田家が水戸藩から拝領した(いただいた)場所であることから、拝領山といわれ、諏訪山古墳とも呼ばれています。全長100メートルの前方後円墳で、前方部が後円部に比べて高さが低く未発達であることや、出土した壺の特徴から、古墳時代前期前半に造られたものと考えられています。

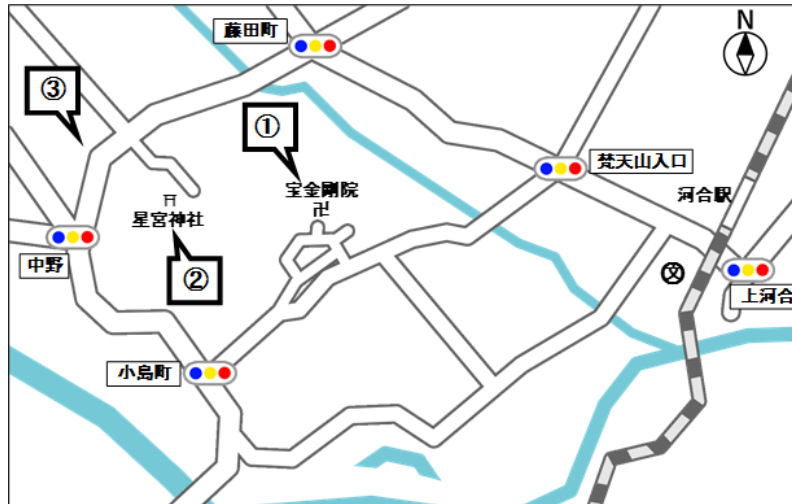
中野富士山古墳は全長70メートル、前方部が短い前方後円墳です。測量したときに多くの壺型埴輪が見つかりました。古墳の周りには、後円部の東側を中心に幅約11メートル・深さ1メートルの溝が残っていますが、後円部の南側あたりでは自然消滅します。つまり、前方部の西側や後円部の南側には溝は巡らず、自然の地形を削り出して造ったのです。いづろ造られたかは、見つかった遺物が少ないため正確な時期は分かりませんが、古墳の規模や造られた場所などを他の古墳と比較すると、古墳時代前期後半ごろに造られたと考えられます。



アクセス

- ① 梵天山古墳群：島町2317番地(宝金剛院周辺) (P) (P) (P) (P)
- ② 星神社古墳：小島町757番地1ほか (P) (P)
- ③ 中野富士山古墳：中野町311番地ほか (P) (P)

※アイコンの説明：P 駐車場あり 撮影 OK トイレあり



古墳についてもっと知りたい人は、梅津新聞の「古代編②」を読んでみよう！



ユウコさんのおやくそく 文化財見学のマナー

- 文化財は地域の貴重なお宝です。マナーを守って見学しましょう。
- 文化財をよごしたり、こわしたりしないようにしましょう。
- 所有者や管理者、近所の方々の迷惑にならないようにしましょう。
- 写真や動画を撮る前に、撮影してもよいか確認しましょう。

新型コロナウイルス を広めないために



- 新型コロナウイルス感染拡大を防ぐため、次のことを守りましょう。
- 熱が出ている、倦怠感があるなど、少しでも体調が悪いときは無理に出かけない。
- お友だちなどを誘って、大人数で出かけるのを控える。
- 一緒に行った人とあまりおしゃべりしない。
- (ほかの見学者がいた場合) 人との間隔をあけて見学する。